

「愛知県高潮対策検討委員会 第2回技術部会」の開催概要について

1. 概要

平成29年11月22日午後15時30分からウインクあいちにて「愛知県高潮対策検討委員会 第2回技術部会」を開催しました。

『技術部会 出席委員』

氏名	所属	備考
喜岡 渉	名古屋工業大学 名誉教授	
水谷 法美	名古屋大学 教授	座長
加藤 茂	豊橋技術科学大学 教授	
北野 利一	名古屋工業大学 教授	
加藤 史訓	国土交通省 国土技術政策総合研究所 河川研究部 海岸研究室長	
鮫島 和範	国土交通省 国土技術政策総合研究所 沿岸海洋・防災研究部 沿岸防災研究室長	

2. 内容

- (1) 第2回技術部会の開催主旨について
- (2) 第1回技術部会における質問・意見について
- (3) 報告内容及び技術課題
 - 高潮浸水想定区域図（案）
 - 高潮特別警戒水位の見直し
 - 最大規模以外の外力等による高潮浸水想定
 - その他（市町村との調整内容、避難までのタイムライン、堤外地の取組）
- (4) 次回の検討内容

3. 主な意見

委員からの主な意見は以下のとおり。

- 高潮警報発令時かつ高潮特別警戒水位に達した段階で水位周知を行う方針としているが、高潮特別警戒水位は越流氾濫だけでなく決壊氾濫を基準として決定される場合もあるため、堤防高だけでなく決壊水位（設計高潮位）についても、高潮警報が発令される水位より高いことを確認すべきである。
- 想定最大規模以外の外力等による高潮浸水想定について、結果が一人歩きしないように、検討条件や結果の使い方を丁寧に説明することが重要である。
- 高潮特別警戒水位の設定は高潮の水位上昇特性を考慮しリードタイムを長くすると平常水位に近くなるため、60分で設定した県の提案は概ね妥当と考える。



検討委員会 全景



検討委員会 全景



質疑応答 (1)



委員質疑 (2)